

愛知県生涯学習推進計画の改訂（中間案）に対する意見の概要と県の考え方

番号	意見の概要	県の考え方
1	<p>学習をするにも、時間的な制約が社会人にはある。学習にかけることができる時間は限られている。学習しやすいよう、ワーク・ライフ・バランスを推進することが必要と思う。</p>	<p>大学等高等教育機関に対して公開講座等の実施を働きかけるとともに、高等教育機関と地域が連携して社会人が学びやすい学習環境を提供するなど、社会人の学び直しを促進する環境づくりを進めてまいります。計画では、第2章5「大学等高等教育機関」や第3章4（3）「社会人の学び直しの推進」の中で記述しております。</p> <p>また、ワーク・ライフ・バランスについては、第2章7「企業」の中で記述しております。県では、仕事と生活とを両立させることができる様々な制度を持ち、多様かつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような取組を行う企業を「ファミリー・フレンドリー企業」として登録する制度を設けるなど、ワーク・ライフ・バランスを推進しております。引き続きワーク・ライフ・バランスがより一層推進されるよう努めます。</p>
2	<p>町内会など、地域のつながりが昔よりかなり薄くなっていると感じる。計画にあるように、学校、地域が連携して地域の活性化を進めていってほしい。</p>	<p>学校と地域が連携・協働しながら地域全体で未来を担う子どもたちを支えていき、その取組を通じて地域を活性化することは重要であり、計画では、第2章3「学校」や第3章2（2）「地域の教育力の向上」の中で記述しております。</p> <p>地域学校協働本部推進会議の開催や、学校と地域の連携・協働を推進するコーディネーター等の資質向上を図るための研修の実施など、学校を核とした地域づくりがより一層推進されるよう努めます。</p>
3	<p>「子ども・若者の貧困問題」は、愛知県でも検討会議を開いていると聞いている。これが、計画策定の背景にあるのは、もっともな事だと思う。</p> <p>こうした問題に生涯学習の面から効果的なアプローチができると良いと思う。</p>	<p>困難を抱える子ども・若者が将来の進路選択の幅を広げるとともに、自立した生活を送ることができるよう、関係機関、団体等が連携し、年齢階層で途切れることのない学習支援や相談支援等の推進に努めてまいります。</p>